

G空間防災システム

- 地震・津波等による広域災害や緊急性を要する大規模災害に対して、G空間情報（地理空間情報）とICTを連携させて構築する先端的な防災システム。G空間防災システムの活用による地域連携を図ることにより、地域の災害に対する予測力・予防力・対応力を強化し、被害の縮小と復興・復旧までの経済的・時間的ロスの最小限化を実現。

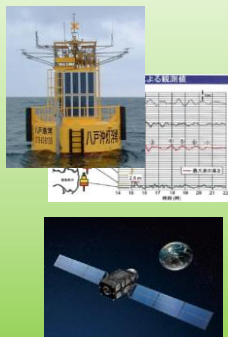
実証モデル1

【目的】

波浪計等を活用した高精度災害予測及び避難誘導情報等の確実な提供

【開発、実証要素】

- 波浪計等のデータの即時収集
- 波浪データによる精緻被害予測
- 準天頂衛星のメッセージ機能の利活用



実証モデル2

【目的】

地下街等の屋内空間における位置に連動した災害情報の提供

【開発、実証要素】

- 屋内測位技術のシームレス化
- 災害時等における情報伝達
- 平時/災害時の情報配信システムの切替



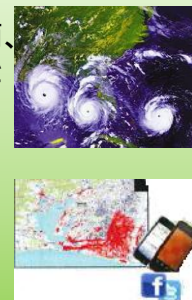
実証モデル3

【目的】

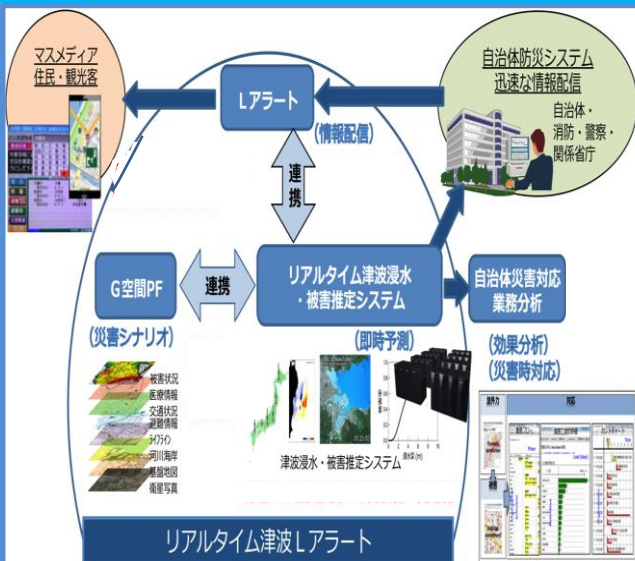
山間部や過疎地域等における豪雨、洪水等の災害情報の迅速な把握と適切な情報提供

【開発、実証要素】

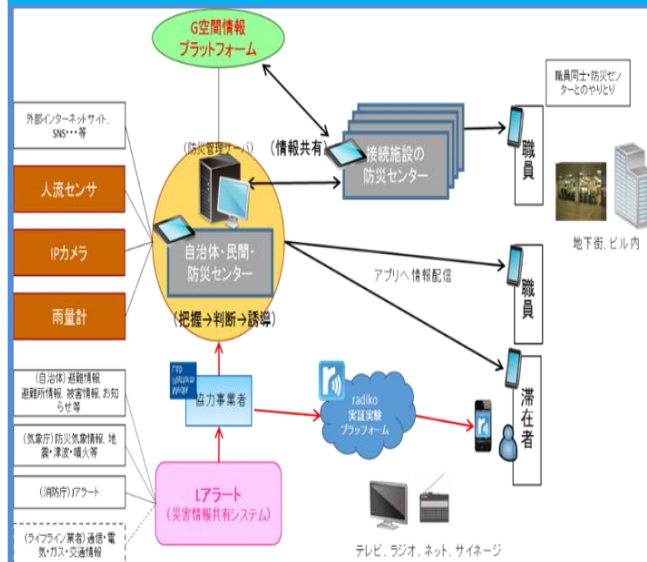
- SNSのビッグデータ分析による被災状況等のGIS上への可視化
- 多層かつ多様なメディアによる位置に連動した情報伝達



リアルタイム津波浸水・被害予測システム（高知市・石巻市）



地下街防災システム（大阪府大阪市）



地域防災システム（熊本県人吉市）

